

# こども 広報

そうかんどう  
創刊号  
へいせい ねん なつごう  
平成22年 夏号

はつごう かすがいし  
発行 / 春日井市

- もくじ ● 1 市のしごと 7 図書館へ行こう！  
5 生物多様性を守ろう 8 わたしの歩んだ道  
6 姫と王子



## 保護者の皆さまへ

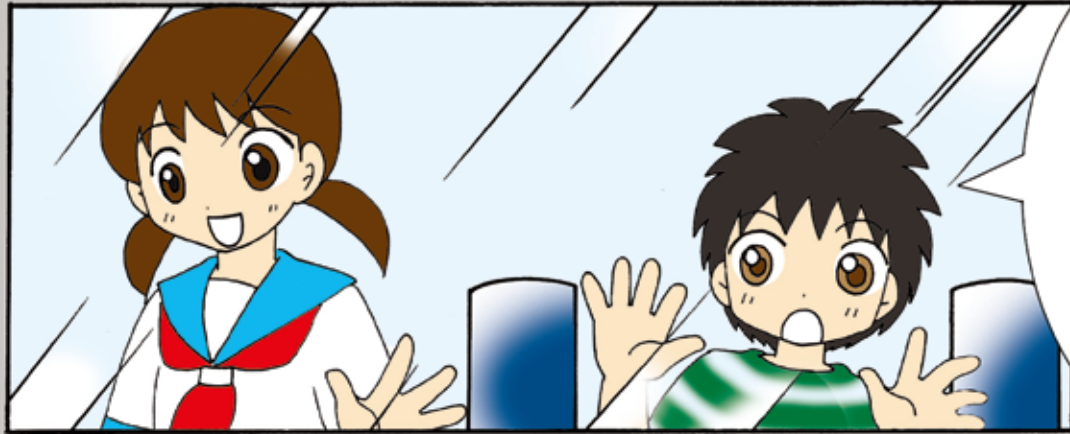
このこども広報は、昨年行われた市内の小学生が市長と対話する「市長を囲んでわくわくトーク」の場で、税金がどのように使われているか知りたいという意見から生まれました。小学4年生から中学生までを対象に7月と12月の2回発行していきます。夏休みや冬休みに家族と一緒に読んでもらえれば幸いです。

市内の小中学生によるペンライトアート（文化フォーラム春日井前）

**Panel 1:** A girl says "まあ！大変！" (Wow! It's a hassle!). A boy looks surprised. A speech bubble says "病院に行かなくっちゃ。" (I have to go to the hospital).  
**Panel 2:** The boy says "いって..." (I'm going...). A speech bubble says "知ってるよ！7月から中学3年生まで掛からなくなっただでしょ。" (I know! From July, it's no longer required for middle school 3rd graders and younger).  
**Panel 3:** The girl says "さういえば知ってる、わたしは子どもは、病院に行っても、お金が掛からないんだよ。" (If you say that, I know, I'm a child, even if you go to the hospital, it doesn't cost money).  
**Panel 4:** The girl says "じゃあ、どうしてさうなったか知ってる？" (Then, do you know why it became like that?). The boy says "正解。" (Correct answer). The girl says "安心して病院に行けるように市が決めただよ。" (The city decided so that you can go to the hospital with peace of mind). The boy says "へえ！さうなんだ。" (Huh! That's true). The girl says "じゃあ、どうしてさうなったか知ってる？" (Then, do you know why it became like that?). The boy says "正解。" (Correct answer). The girl says "身から一緒に市の仕事を探してみようよ。" (Let's look for the city's work together from now on).  
**Panel 5:** A yellow bus is shown. The girl says "それならはあとふるライナーに乗って、行ってみよう。" (If that's the case, let's ride the Aotofuru Liner and see it).  
(※1)

※1 医療保険適用後の自己負担分について全額助成しています。  
 ※2 かすがいシティバス「はあとふるライナー」は平成21年10月に路線とダイヤを見直し、車体も黄色にしました。





こんなに  
いろんなこと  
しているんだね。

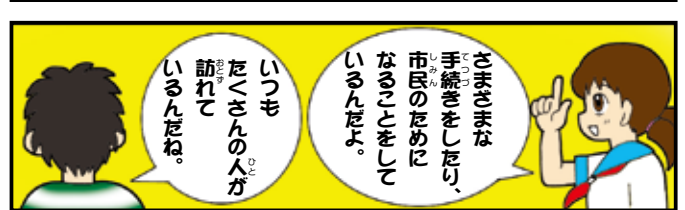
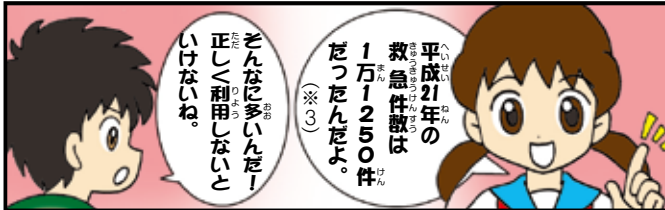
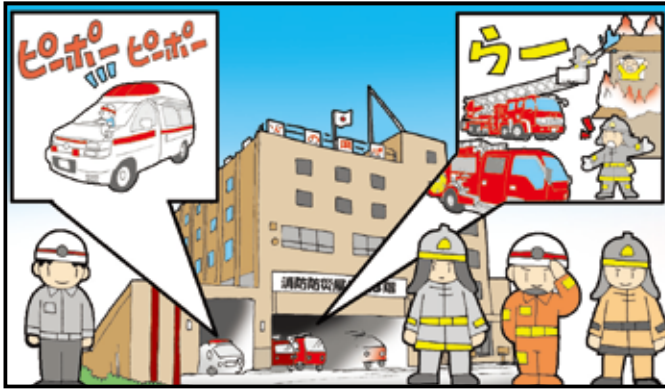
さくらさん  
さくらさん (中学3年生)

けやきくん  
けやきくん (小学4年生、さくらの弟)

はあ〜ふ〜るライ

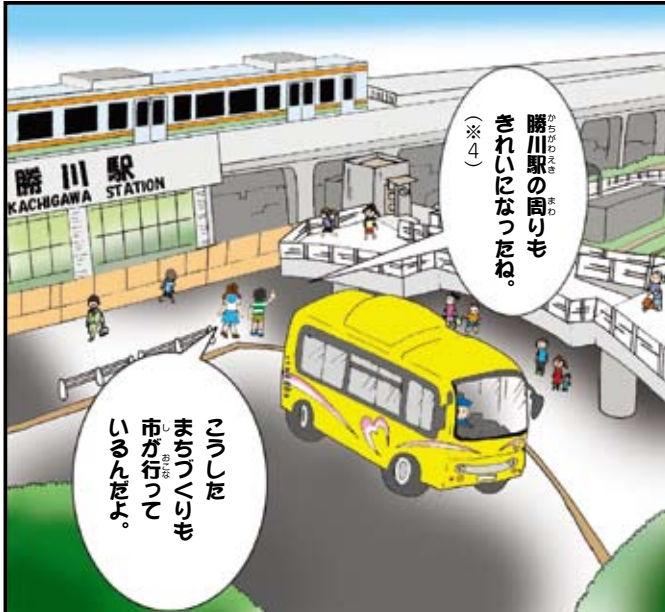
消防署

市役所



まちづくり

道路

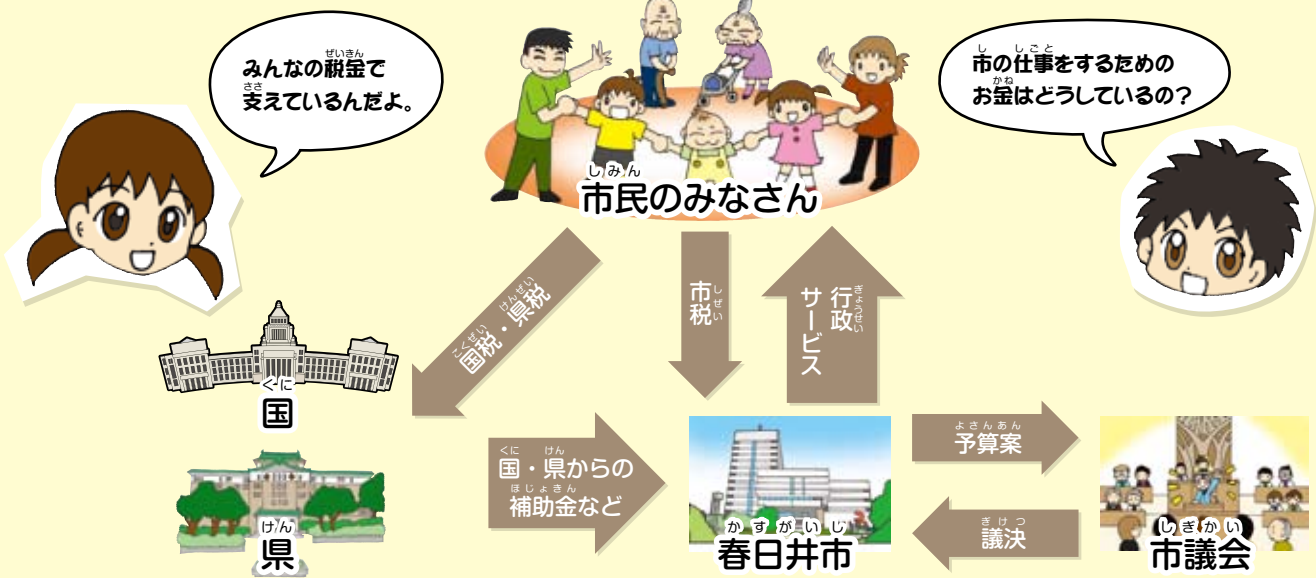


※3 救急件数のうち2人に1人が軽症者でした。また、火災件数は125件でした。

※4 勝川駅前、秋までに有料自転車等駐車場が、来年春までに駅舎2階と結ぶ歩行者用高架道路（ペDESTリアンデッキ）が完成する予定です。







## 歳入

1年間に市に入ってくるお金のことだよ



総額 828 億円



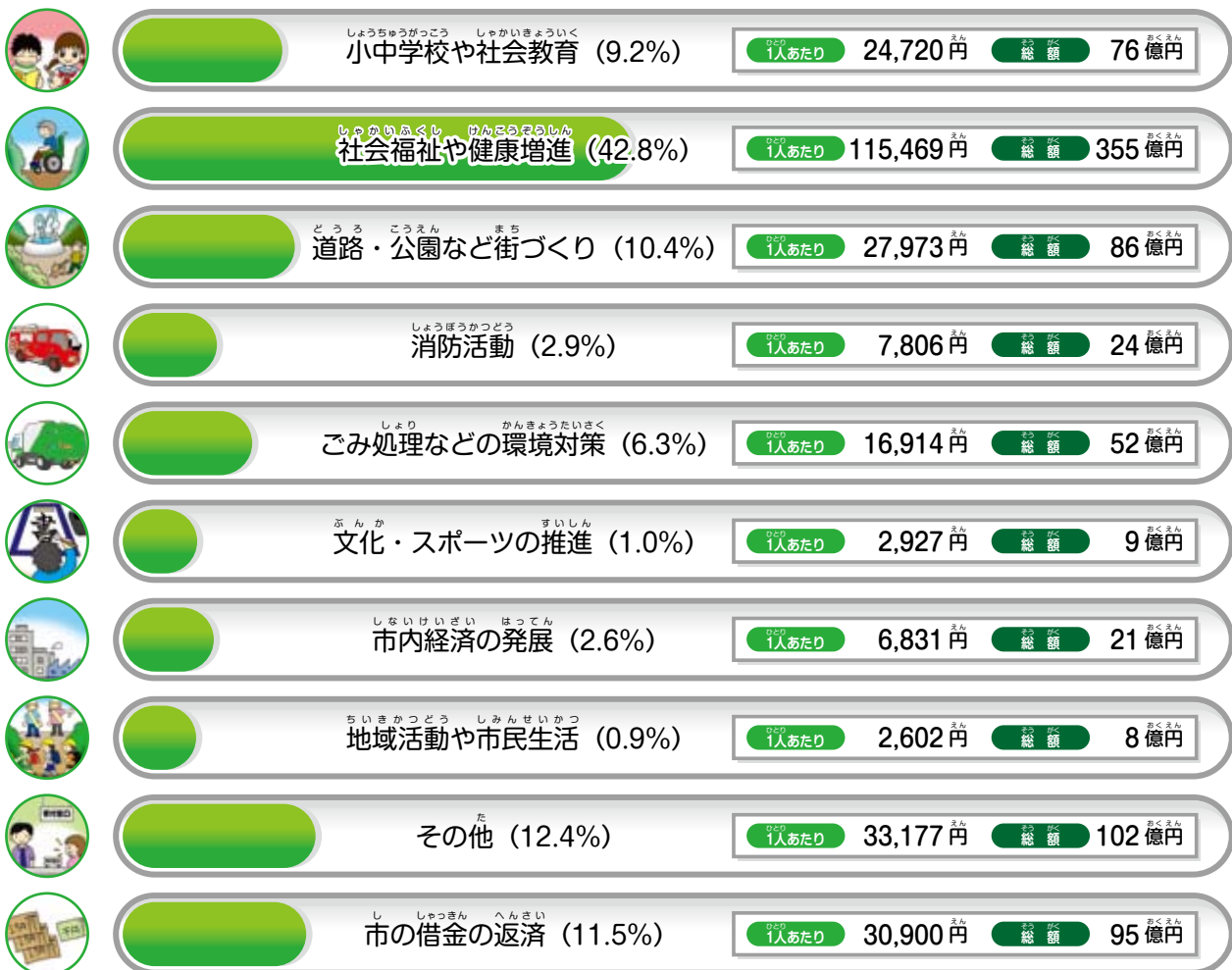
借入金(市債)  
76億円 (9.2%)

## 歳出

1年間に市が使うお金のことだよ



1人あたり 269,319円 総額 828 億円



今年予定している入ってくるお金と使うお金です。



\* 1人あたりの歳出金額は、平成22年4月1日現在の人口(307,442人)で各歳出額を割ったものです。



## これから市がやろうと計画していること

- **駅周辺整備**… J R春日井駅と名鉄味美駅の周りを整備していきます。
- **緑のカーテン作り**…地球の温暖化を防ぐ取り組みとして、アサガオやゴーヤなどの「緑のカーテン」を市の施設に作るのと同時に、緑のカーテンコンテストを行います。
- **若い人たちが書に親しむために**…海外の人たちによる書の作品を展示するとともに、書のパフォーマンスを行います。
- **産業の振興**…会社の活動の支援に力を入れて、市内の産業を元気にします。
- **雨水対策**…大雨により、住宅や道路が浸水しないように雨水を一時的に貯めるところを公園の地下に作ります。
- **特別養護老人ホームや認可保育所を作る費用を補助します**

わたしたちが暮らしやすいように、いろいろなことを考えているんだね。

市のことがいっぱいあるよ。



今回の漫画は市内に住む丸山貴子さんにお願いしました。



## 生物多様性を守ろう

COP10が名古屋で開催されます

### 生物多様性って何だろう？

わたしたちの周りには、人間だけでなく動物や植物などいろいろな種類の生き物が一緒に暮らしています。このようにたくさん生き物がつながりあって生きていることを「生物多様性」といいます。わたしたちの暮らしに必要な食べ物、医薬品、服や木材などは生物多様性の恵みに支えられています。

### COP10って何なの？

今年の十月十日から名古屋で「COP10」が開催されます。COP10とは、生物多様性条約第十回締約国会議のことです。世界の人が集まって、生き物が住む場所を守ることがや生き物の種類が少なくなってしまうような目標を決めることなど生物多様性を守るために話し合います。

### わたしたちにもできることはあるの？

では、生物多様性を守るために何か特別なことをしなければならないのでしょうか。そんなことはありません。皆さんが日常生活している中で、いろいろな生き物と一緒に生物多様性を守ることに協力することができます。

### 例えば…

地元でとれた農作物を選ぶ  
地元でとれた野菜や果物を買って、輸送にかかるエネルギーを抑えることができ、生き物に大きな影響を与える地球温暖化を防ぐことができます。

### 木を植えて育てる

庭やベランダに木を植えたり鉢植えを置いたりすることで、生き物たちを少し呼び戻すことができます。

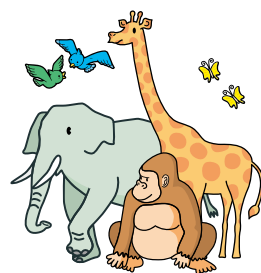
ほかにも自然を守る活動に参加してみると、わたしたちの周りにいるさまざまな生き物を見つけることができます。皆さんも身近にいる生き物のつながりを意識して生活しましょう。

### 市内に住む絶滅が危惧されている生き物



シデコブシ

ギフチオウ



# ひめ 姫 と おうじ 王子

「ハンカチ王子」に「はにかみ王子」、「ナックル姫」。スポーツや文化などで若くして活やくする人は「〇王子」とか「〇〇姫」といったあだ名がつけます。そこで、このコーナーでは、色々な特技で活躍する市内の小中学生を紹介しします。この中から将来「王子」や「姫」が出てくるかもしれませんよ。

## 新体操

すずきしほ 鈴木志帆さん

ちゅうぶちゅうがっこう ねん 中部中学校 3年

(サンシャイン新体操クラブ)

さいきん せいせき 最近の成績

アジアジュニア新体操

せんしゅけんたいかい ゆうしょう だんたいしゅちく 選手権大会 優勝 (団体種目)



新体操を始めたのは小学1年生のころで、3年生から今のクラブで本格的に競技を始めました。新体操の魅力は、短い演技時間でたくさんの人に感動を与えられるところです。また、団体種目は練習がとてもきついです。その分試合で勝ったときの喜びや達成感は個人種目の何倍も大きいです。8月にシンガポールで行われるユースオリンピックでは、3位以内に入ることが目標です。将来はオリンピックに出場できるような選手になりたいと思います。

## クラリネット

かめいゆうと 亀居優斗くん

せいぶちゅうがっこう ねん 西部中学校 3年

おも せいせき 主な成績

かんがつきこじんじゅうそう 管楽器個人重奏コンテスト

ほんたいかいこじんちゅうがく ほんたいかいこじんちゅうがく 本大会個人中学の部 2位



小学生までは、ピアノやトランペットを習っていましたが、中学生になり、そのころテレビでやっていた「のだめカンタービレ」を見て、クラリネットが面白そうと思い転向しました。練習は毎日続けていて、コンサート前は1日8時間くらいすることもあります。今は部活以外に2つの交響楽団にも入り日々練習に励んでいます。クラリネットを買ってもらったときに、父親に音楽家になると約束しました。やりたいことがあれば応援するという両親のためにも、将来はNHK交響楽団のメンバーになりたいと思っています。

## 卓球

まつやまゆうき 松山祐季くん

たかくらしょうがっこう ねん 高座小学校 6年

たくしん しょうぞく (卓伸クラブ所属)

おも せいせき 主な成績

だい かい ぜんこく せんぱつ 第7回 全国ホープス選抜

たつきゅうたいかい だんしだんたい 卓球大会 男子団体の部

ゆうしょう けんせんぱつ しゅつじょう 優勝 (県選抜チームで出場)



年長のころに、卓球をしていたお父さんに勧められて始めました。最初は遊び感覚でしたが、すぐに好きになり、それからずっと続けています。卓球は、試合に勝ったとき、特にライバルに勝ったときが最高にうれしいです。ときどき、試合に負けたときは、やめたくなることもあるけど、すぐに挑戦意欲がわいてきます。次の目標は、全国ホープス卓球大会での優勝。将来は、国際大会に出て、活躍できるような選手になりたいと思っています。

## ひめ 姫 からのことば

ぶんか たいし 文化スポーツ大使

まつむらあやこ 松村亜矢子さん

もと (元)シンクロナイズド

スイミング選手

ぺきん にほんだいいひょう 北京オリンピック日本代表)



市内の小中学生の皆さんが文化・スポーツの分野で活躍している事をうれしく思います。何事も目標を持つことは大事なことです。練習を続けていく中で失敗や挫折しそうなこともありますが、目の前の目標に向かって努力していきましょう。今回登場してくれた皆さんは、日ごろから厳しい練習に励んでいると思いますが、将来の「交響楽団のメンバー」「オリンピック出場」「国際大会での活躍」という大きな目標を目指して頑張ってください。気持ちが折れなければ必ず結果はついてきます！



# 図書館へ行こう！

2016 国民読書年



今年(ことし)は国民読書年(こくみんよみかたねん)です。本(ほん)は心(こころ)を豊(ゆた)かにし、大(おお)きな感(かん)動(どう)を呼(よ)びます。そ(そ)こで、十(じゅう)代(だい)の皆(みな)さん(さん)にお(お)勧(すす)め(め)の1(いち)冊(さつ)を紹(しやう)介(かい)し(し)ま(ま)す。夏(なつ)休(やす)みは本(ほん)を(を)読(よ)み、新(あたら)しい世(せ)界(かい)を感(かん)じ(じ)てみ(み)ま(ま)せ(せ)んか。

## 本の案内人、司書って知ってる？

図書館(としょかん)で読(よ)みたい本(ほん)が(が)見(み)つ(つ)か(か)ら(ら)な(な)い(い)と(と)き(き)、ど(ど)う(う)し(し)て(て)い(い)ま(ま)す(す)か(か)？ パソ(パ)コン(コン)で探(さが)す(す)の(の)も便(べん)利(り)で(で)す(す)が、司(し)書(しょ)の(の)人(ひと)に聞(き)いて(いて)み(み)る(る)の(の)もい(い)か(か)も(も)し(し)れ(れ)ま(ま)せ(せ)ん(ん)。

司(し)書(しょ)の(の)人(ひと)は題(だい)名(めい)が(が)分(わ)か(か)ら(ら)な(な)い(い)本(ほん)、調(しら)べ(べ)たい(たい)内(ない)容(よう)に(に)合(あ)った(った)本(ほん)、自(じ)分(ぶん)が(が)好(す)きな(な)作(さく)家(か)の(の)本(ほん)な(な)ど(ど)い(い)ろ(ろ)な(な)リ(り)ク(ク)エ(エ)ス(ス)ト(ト)に(に)応(おう)じ(じ)て(て)本(ほん)を(を)探(さが)し(し)て(て)く(く)れ(れ)ま(ま)す(す)。夏(なつ)休(やす)み(み)の(の)宿(しゅ)題(だい)に(に)役(やく)立(た)つ(つ)本(ほん)も(も)探(さが)し(し)て(て)く(く)れ(れ)る(る)か(か)も(も)し(し)れ(れ)ま(ま)せ(せ)ん(ん)よ(よ)。

本(ほん)を(を)探(さが)す(す)お(お)手(て)伝(でん)い(い)を(を)す(す)と(と)き(き)は、そ(そ)の(の)人(ひと)が(が)知(し)り(り)たい(たい)内(ない)容(よう)よ(よ)り(り)も(も)う(う)少(せう)し(し)深(ふか)い(い)内(ない)容(よう)が(が)分(わ)か(か)る(る)本(ほん)を(を)選(えら)ぶ(ぶ)よ(よ)う(う)に(に)し(し)て(て)い(い)ま(ま)す(す)。例(たと)え(え)ば、虫(むし)に(に)刺(さ)さ(さ)れた(れた)と(と)い(い)う(う)人(ひと)に(に)、治(ち)療(りょう)や(や)対(たい)処(しょ)方(ぽう)法(ぽう)を(を)知(し)っ(っ)て(て)も(も)ら(ら)う(う)た(た)め(め)に(に)医(い)学(がく)と(と)ア(ア)ウ(ウ)ト(ト)ド(ド)ア(ア)の(の)本(ほん)を(を)選(えら)ん(ん)だ(だ)こ(こ)と(と)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。

図(と)書(しょ)館(かん)に(に)は、若(わか)い(い)人(ひと)向(む)け(け)の(の)ヤ(ヤ)ン(ン)グ(グ)ア(ア)ダ(ダ)ル(ル)ト(ト)コ(コ)ー(ー)ナ(ナ)ー(ー)が(が)あ(あ)り(り)、い(い)ろ(ろ)い(い)ろ(ろ)な(な)ジ(ジ)ャ(ャ)ン(ン)ル(ル)の(の)本(ほん)が(が)ま(ま)と(と)め(め)て(て)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。ぜ(ぜ)ひ(ひ)お(お)自(じ)当(た)て(て)の(の)本(ほん)を(を)探(さが)し(し)に(に)来(き)て(て)み(み)て(て)く(く)だ(だ)さ(さ)い(い)。



図書館司書・陣内亜希さん

### 『精霊の守り人』

上橋菜穂子/作 二木真希子/絵 (偕成社)

魔(ま)物(ぶつ)や(や)父(ちち)帝(てい)から(か)ら(ら)幼(お)い(い)皇(こう)子(し)チャ(チャ)グ(グ)ム(ム)を(を)守(まも)る(る)、女(おんな)用(よう)心(しん)棒(ぼう)バ(バ)ル(ル)サ(サ)の(の)物(もの)語(ご)。人(にん)間(げん)と(と)精(せい)霊(れい)の(の)二(に)つ(つ)の(の)世(せ)界(かい)を(を)描(えが)いた(いた)ファン(ファン)タ(タ)ジ(ジ)ー(ー)で(で)す(す)。た(た)く(く)さ(さ)ん(ん)の(の)？(?)が(が)あ(あ)り(り)、わ(わ)く(わ)わ(わ)く(く)し(し)な(な)が(が)ら(ら)読(よ)め(め)ま(ま)す(す)。

### 『たったひとつの冴えたやりかた』

ジェイムズ・ティプトリー・ジュニア / 作 朝倉久志 / 訳 (早川書房)

さ(さ)ま(ま)ざ(ざ)ま(ま)な(な)作(さく)品(ひん)で(で)タイ(タイ)トル(ル)が(が)引(ひ)用(よう)さ(さ)れ(れ)て(て)い(い)る(る)SF(サイエンスフィクション)の(の)名(な)作(さく)。少(せう)女(にょ)コ(コ)ー(ー)ティ(ティ)ー(ー)と(と)、エイ(エイ)リア(リア)ン(ン)の(の)友(とも)情(じやう)が(が)描(えが)か(か)れ(れ)て(て)い(い)ま(ま)す(す)。読(よ)み(み)や(や)す(す)い(い)の(の)で(で)、初(は)め(め)て(て)SF(サイエンスフィクション)を(を)読(よ)む(む)と(と)い(い)う(う)人(ひと)に(に)も(も)お(お)勧(すす)め(め)で(で)す(す)。

### 『クローディアの秘密』

E.L. カニグスバーク / 作 松永ふみ子 / 訳 (岩波書店)

日(ひ)ご(ご)ろ(ろ)の(の)不(ふ)満(まん)か(か)ら(ら)、弟(あとう)と(と)家(いえ)出(で)し(し)て(て)、メ(メ)トロ(トロ)ポ(ポ)リ(リ)タ(タ)ン(ン)美(び)術(じゆつ)館(かん)に(に)忍(しの)び(び)こ(こ)ん(ん)だ(だ)ク(ク)ロ(ロ)ー(ー)ディア(ディア)。注(ちゆ)目(め)的(てき)に(に)な(な)っ(っ)て(て)い(い)る(る)天(てん)使(し)像(ざう)の(の)謎(なぞ)を(を)さ(さ)ぐ(ぐ)り(り)ま(ま)す(す)。そ(そ)れ(れ)は、自(じ)分(ぶん)探(たん)し(し)の(の)旅(たび)で(で)も(も)あ(あ)り(り)ま(ま)す(す)。

### 『元素生活』

寄藤文平 / 著 (化学同人)

水(みづ)、酸(さん)、鉄(てつ)な(な)ど(ど)、個(こ)性(じやう)あ(あ)ふ(ふ)れる(る)1(いち)1(いち)8(はち)の(の)元(げん)素(そ)を(を)キ(キ)モ(モ)カ(カ)ワ(ワ)い(い)キ(キ)ャ(ャ)ラ(ラ)ク(ク)タ(タ)ー(ー)化(か)し(し)て(て)解(かい)説(せつ)。イ(イ)ラ(ラ)スト(スト)を(を)楽(たの)し(し)ん(ん)で(で)も(も)、じ(じ)っ(っ)く(く)り(り)読(よ)み(み)込(こ)ん(ん)で(で)も(も)、元(げん)素(そ)の(の)世(せ)界(かい)を(を)身(み)近(ぢか)に(に)感(かん)じ(じ)ら(ら)れる(る)一(いち)冊(さつ)で(で)す(す)。

### 『ほんのおおきさ水族館』

小宮輝之 / 監修 (学研教育出版)

見(み)開(ひら)き(き)い(い)っ(っ)ぱ(ぱ)い(い)の(の)大(おほ)き(き)な(な)写(しゃ)真(しん)は(は)迫(はく)り(り)い(い)っ(っ)ぱ(ぱ)い(い)。シャ(シャ)チ(チ)な(な)ど(ど)は(は)本(ほん)か(か)ら(ら)は(は)み(み)だ(だ)し(し)て(て)い(い)ま(ま)す(す)。ま(ま)わ(わ)り(り)に(に)は(は)そ(そ)れ(れ)ぞ(ぞ)れ(れ)の(の)生(なま)き(き)物(ぶつ)の(の)秘(ひ)密(みつ)。メ(メ)モ(モ)も(も)書(か)れ(れ)て(て)い(い)て(て)、観(かん)察(さつ)の(の)参(さん)考(こう)に(に)な(な)り(り)ま(ま)す(す)。



司(し)書(しょ)が(が)オ(オ)ス(ス)メ(メ)す(す)る(る)、こ(こ)の(の)夏(なつ)、こ(こ)の(の)1(いち)冊(さつ)  
小(しょう)学(がく)校(がっこう)4(よん)年(ねん)生(せい)〜6(む)年(ねん)生(せい)向(む)け  
中(ちゅう)学(がく)生(せい)向(む)け

### 『園芸少年』

魚住直子 / 作 (講談社)

3(さん)人(にん)だ(だ)け(け)の(の)園(えん)芸(ぎ)部(ぶ)で(で)奮(ふん)闘(とう)す(す)る(る)男(おとこ)子(こ)高(こう)校(がっこう)生(せい)た(た)ち(ち)を(を)描(えが)いた(いた)青(せい)春(しゆん)小(せう)説(せつ)で(で)す(す)。花(はな)を(を)育(そだ)て(て)る(る)こ(こ)と(と)を(を)通(と)し(し)て(て)少(せう)し(し)ず(ず)つ(つ)友(とも)情(じやう)を(を)築(た)いて(いて)い(い)く(く)少(せう)年(ねん)た(た)ち(ち)の(の)姿(すがた)に(に)、心(こころ)温(ぬ)ま(ま)り(り)ま(ま)す(す)。



## ご意見、ご感想まってまーす

こ(こ)ど(ど)も(も)広(こう)報(ほう)で(で)は、皆(みな)さん(さん)が(が)知(し)り(り)たい(たい)と(と)思(おも)った(った)こ(こ)と(と)を(を)分(わ)か(か)り(り)や(や)す(す)く(く)伝(でん)え(え)て(て)い(い)き(き)たい(たい)と(と)考(かん)が(が)て(て)い(い)ま(ま)す(す)。リ(リ)サ(サイ)クル(ル)は(は)ど(ど)う(う)や(や)っ(っ)て(て)行(い)わ(わ)れる(る)の(の)？(?)税(ぜい)金(ぎん)っ(っ)て(て)ど(ど)う(う)や(や)っ(っ)て(て)決(き)ま(ま)る(る)の(の)？(?)な(な)ど(ど)疑(ぎ)問(もん)に(に)思(おも)っ(っ)て(て)い(い)る(る)こ(こ)と(と)を(を)教(おし)え(え)て(て)く(く)だ(だ)さ(さ)い(い)。

ま(ま)た、6(む)ペ(ペ)ー(ー)ジ(ジ)の(の)『姫(ひめ)と(と)王(おう)子(し)』に(に)紹(しょう)介(かい)し(し)て(て)ほ(ほ)しい(い)人(ひと)、紹(しょう)介(かい)し(し)たい(たい)人(ひと)も(も)募(ぼ)集(じつ)し(し)ま(ま)す(す)。そ(そ)れ(れ)以(い)外(がい)に(に)も(も)、の(の)せ(せ)て(て)ほ(ほ)しい(い)コ(こ)ー(ー)ナ(ナ)ー(ー)や(や)紹(しょう)介(かい)し(し)たい(たい)こ(こ)と(と)な(な)ど(ど)意(い)見(けん)を(を)書(か)いて(いて)送(おく)っ(っ)て(て)く(く)だ(だ)さ(さ)い(い)。

送(おく)っ(っ)て(て)く(く)れ(れ)た(た)人(ひと)の(の)中(なか)か(か)ら(ら)抽(ちゅう)選(せん)で(で)5(ご)人(にん)に(に)道(どう)風(ふう)く(く)ん(ん)特(とく)製(せい)ピン(ピン)バ(バ)ッ(ッ)チ(チ)を(を)差(さ)し(し)上(あ)げ(げ)ま(ま)す(す)。

8(はち)月(げつ)31(いちじゅういち)日(にち)ま(ま)で(で)に、は(は)が(が)き(き)か(か)E(イー)メ(メール)ール(る)に(に)住(じゅう)所(しょ)、氏(し)名(な)(ふりがな)、学(がく)校(がっこう)名(な)、学(がく)年(ねん)と(と)こ(こ)ど(ど)も(も)広(こう)報(ほう)を(を)読(よ)ん(ん)だ(だ)感(かん)想(さう)を(を)書(か)いて、〒486-8686 春(か)す(すが)が(が)い(い)し(し)や(やく)く(く)し(し)ょ(ょ)う(う)ほ(ほ)う(う)こ(こ)う(う)ち(ち)ょう(ょう)か(か) (Eメール koho@city.kasugai.lg.jp) ま(ま)で(で)



# わたしの歩んだ道 第1回



熊谷 雄一さん  
(東野町)

熊谷さんは、ハイチの会という団体で海外の恵まれない人たちの支援をしています。今年の一月十二日、支援先で大地震に遭い、現地の悲惨な状況を伝えてくれました。今は帰国して新たな目標に挑む熊谷さんに、どうして国際協力の仕事をするようになったのかを聞きました。また、こども広報を読む皆さんへ夢を叶えるためのメッセージをもらいました。

きっかけは、飢餓に苦しむアフリカの子どもたちをテレビで見たことでした。当時中学生だったわたしは、日本と違い、毎日の食糧や水が十分でない世界に驚き、この子どもたちを救えるよう、国際協力の仕事に就こうと決めました。大学卒業後、青年海外協力隊の一員として、アフリカのブルキナファソへ二年間派遣され、現地で農業を教えていました。

帰国後、ハイチの会という団体からハイチで支援活動をしてみないかと誘われ、今の仕事に就きました。

ハイチ共和国は、中央アメリカにある島国で、国土は四国の一・五倍、人口はおよそ九百六十万人の小さな国です。一年中暖かく、住む人たちのものびりとしています。貧しい国で、地震前でも食事は一日一食の人が大勢いました。

きたとき、わたしは、震源地から10kmしか離れていないレオガンという町にいて、バナナ畑からホテルに帰る



ハイチの人たち

ところでした。車に乗っていたため、あまり揺れは感じませんでした。たが、車を止めると、目の前で土ぼこりが舞い上がりました。住居が倒れたのです。周辺の住民が慌てて広場へ逃げ出してきて、女性たちが泣き叫んだり、神に祈ったりしていました。地震が少ない国のため、備えがなかったうえに、その後の支援も進まず、野外で二日間過ごしました。避難のため隣のドミニカ共和国に入ったとき、体重は四kgも減っていました。ハイチ全体では、犠牲者二十三万人、負傷者三十万人、国民の四人に一人が被災したと言われています。

一度帰国しましたが、三月三十日に医療支援の通訳として、再びハイチに向かいました。地震から四か月近く経っているのに、崩れた建物はそのままになっており、住民たちは粗末なテントで暮らしていました。これは、支援の中心となる現地スタッフも多くが被災して、救援物資などの配分がうまくいっていないためです。ただ、ハイチの人たちは我慢強く、地震当初よりも明るい表情が見られました。



地震後も子どもたちは笑顔でした

七月から、イギリスのブリストル大学の大学院で水環境工学を学ぶ予定です。修了後は、国際公務員を目指してJPO (Junior Professional Officer) の試験を受ける予定です。JPOは外務省が将来国際公務員を志望する人を国際機関に派遣する制度です。

## メッセージ

今、夢があるなら、すぐにでも夢に向けて調べたり、勉強したり行動してほしいです。自分も夢に向かって一歩一歩進んできました。こうなるといいなど考えるだけでなく、実際に一歩踏み出してほしいと思います。また、もし夢が見つからなくても、自分が何をしたいのか問いかけて、あせらず見つけてほしいと思います。

取材は6月に行いました。ハイチの写真は熊谷さんからの提供です。